

図書館ひろば



「調べ学習講座」が開催されました

7月23日(土)、「図書館で調べて、新聞を作ろう!」が市立図書館で行われました。小学1年生から5年生までのお子さんが参加しました。講師が新聞の見出しのつけ方などの説明をしたあと、自分のテーマを考えたり、新聞名・見出しを考えたりしました。使う資料を1階児童コーナーで探して、新聞記事にまとめました。

7月29日(日)には、「ネットと本で調べ学習体験講座」が橋本図書館で行われました。小学2年生から中学2年生のお子さんが参加しました。講師が調べる流れを説明したあと、こどもの本コーナーに行って、調べたいテーマに関連する本を探しました。調べたことは冊子にまとめました。

この調べ学習講座に参加されたお子さんは、自

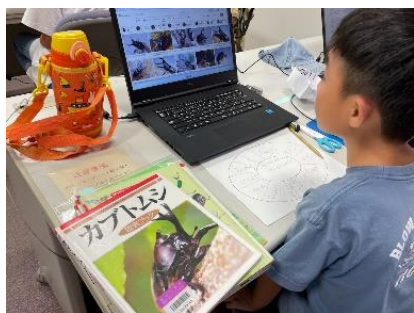
分の頭の中に、出来上がりのイメージができていようので、調べたことを書いたカードや写真や図のコピーの配置を考えながら台紙を埋めていきます。できあがった作品には、保護者の方にもご協力いただき、付箋に感想を書いて貼っていただきました。

人気のテーマは「昆虫」「とかげ」。聞いてみるとご自宅で飼っている方が多く、クワガタやバッタのようすを楽しそうに教えてくださいました。お世話をしているものを、もっと詳しく知りたいという、調べることの原点を見た気がしました。

コロナ感染症は5類に移行しましたが、感染予防対策として、入室時の検温や消毒にご協力いただきました。参加して下さったみなさま、本当にありがとうございました。(中塚)



市立図書館のようす



橋本図書館のようす

第14回「図書館ひろば」が4年ぶりに対面で開催されました

11月26日(日)の「第14回図書館ひろば」は無事終了しました。

4年ぶりの古本市は、会場が大集会室から中集会室に変わり、規模も少し縮小されましたが、多くの市民の方々に好評でした。会場でいただいた寄付金は、図書館の図書購入に役立てていただくために、市に贈呈しました。おはなしワニーズさんの「布えほんとおはなし会」は、根強い人気があり、ご家族づれのご来場で賑わいました。布えほんのほかにも、布おもちゃやエプロンシアターなどもあり、子どもたちが大喜びでした。「本の修繕の実演」も久しぶりでしたが、修繕ボランティアの方々のご協力で開催することができて、多くの市民が熱心に見守ってくださいました。「POPによる読書応援」は、コロナ禍で集会室での事業が行えない中で始めた事業で、今年で3回目です。市内の大学のご協力をいただき、また展示場所も読書室の前ということもあって、若い方の反応が多くあり、展示された本も、結構借りられていました。

最後に、図書館ひろば開催にあたって、図書館職員の皆様をはじめ、ご支援、ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。(代表・山本)

▶古本市

今回は中集会室で行いました。本が入り切るのか、どういう動線にするのか色々検討し、入室は1回30分、25名の定員で5回を設定し、つなぐ会のホームページから予約を受付けました。古本の寄付は約1620冊、持ち帰りは845冊、入場者数75名、寄付金は17777円(相模原市特別寄付へ払込済み)でした。一人で40冊持ち帰った方、ずっと探していた本に出会えた!と嬉しそうな方などさまざまでした。本や予約の受付方法、入室の定員、スタッフの役割分担など課題もありますが、皆様のご協力で、トラブルなく終了しました。(矢部)



▶POP 展示「私が選んだイチオシの本」

「図書館ひろば」が開催できなかった期間のスピノフ企画だったPOPと本の展示。今回も11月の1カ月間、市立図書館2階の展示スペース全面を使って展開しました。

一般の方、桜美林大学「読プロ」さん、相模女子大学の学生さん、つなぐ会会員から24作品が集まりました。布えほんもガラスケースの中に入れ、POPをつけ紹介しました。

展示期間中は、多くの方が足を止め、本を手に取りじっくり読んでいる姿が見られました。(中塚)



▶布えほん・布おもちゃ展示 おはなし会

3年前はオンラインでの「おはなし会」の参加のみでした。今回は、実際に「見て・聞いて・触って・遊ぶ」活動が出来て良かったです。「この部屋に居ると、とっても幸せを感じる」と言って下さった方が居て、嬉しかったです。

壁面には昔話・グリム童話のシアター・エプロンシアターを飾り、机には布えほんを並べ、マットには布おもちゃを広げました。全部ワニーズメンバーがチクチク縫った布作品です。子どもたちのお目当ては、「ケーキ飾り」「切れるスイカや野菜」「むけるくだもの」「ままごと」「人形」等々。「おはなし会」はワニさんの導入で、布えほんやエプロンシアター・手遊びをしました。以前ワニーズの展示で一緒したお子さんが、お母さんになって今回我が子とご主人と一緒に来場され楽しく遊んでいた事。また別の家族連れのお父さんは布えほんを初めて見て大変感動して下さった事等々、笑顔がいっぱいあふれていました。

重い作品を運んで下さったスタッフの皆さんに感謝します。(富永)



▶ 修繕の実演

今回は4名の市立図書館修繕ボランティアの方が協力してくださいました。

古本市出口前で行っていたため、多くの古本市参加前後の方々が足を止めていました。あちらこちらで家庭で行えるちょっとした修繕のやり方の質問があがり、積極的に意見交換が行われ大いに賑わっている様子でした。修繕で一番頭を抱える糊のベタベタには、シッカロールを叩くことにより取れると教わり、買って帰ろうとの声もあがっていました。

なんと修繕メンバーの中には中学生の女の子がおり、慣れた手つきで糊の跡を取る姿に圧倒されました。

普段見ることのできない修繕の様子を生で見ることができ加えて質問もできる貴重な機会は、足を止めた方々にとってとても有意義な時間だったと思います。(古谷)

「第11回学校図書館学習会」が開催されました

10月8日(日)、橋本図書館研修室にて学校図書館学習会が開催されました。今回は11月に図書整理員有志勉強会で行われる「ポプラディア講習会」の前に、百科事典(書籍)とネットの情報を上手に使うために学校図書館ができることを、参加者で考えるワークショップを行いました。

調べる課題は、小学4年生国語で学習する「伝統工芸」。調べ方は3つのプロセスで行いました。プロセス①ではインターネットの情報のみで、検索語を「伝統工芸」からスタートする。プロセス②ではポプラディアの「伝統工芸品」の項目に載っているものを参考に、自分が興味ある工芸品をインターネットで調べる。プロセス③では2回目に調べた工芸品を、書籍のポプラディアに載っている項目を確認し、ネット上の情報と比較しました。調べたことをまとめるツールとして、市内の子どもたちが使っているGoogleアプリケーションのスライドを利用しました。調べた工芸品をグループに分かれて発表し合い、さらに調べた際の検索語の違い、得られた情報の違いなどを話し合いました。

最後に「なぜ百科事典を使った方がいいのか?」という問いについて、Jamboardを使いながら話し合いました。百科事典は「信頼性が高い」「説明がわかりやすい」「写真や絵が入っていて理解しやすい」「はじめの一步に適している」などさまざまな意見が出ました。インターネット上の情報を検索すると、小学生が使いそうなわかりやすくルビ付きのサイトがいくつもあること、紙媒体の百科事典の説明はとて簡潔であることなど、実際に体験したからこそ気づきがありました。参加者の方のご協力もあって、11月の「ポプラディア講習会」につながる学習会になりました。(中塚)



図書館と市民をつなぐ会・相模原 会員募集中!

一緒に活動していただける正会員を募集しています。
また、賛助会員として協力していただける方も募集しています。
年会費 正会員 1000円(学生500円)
賛助会員 1口 2000円



編集後記

4年ぶりの「図書館ひろば」では、対面で開催する意味を感じました。ワニーズさんの布おもちゃを楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿。修繕の実演では見事なボランティアさんの手技に、次々に質問が飛び交いました。「ひろば」がこうした交流の生まれる場となることを実感しました。(Y.N.)

図書館ひろば 第31号 2024年1月15日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間 4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

ホームページ <http://toshokan.org/>